

中国におけるロッテと楽天

在韓米軍への高高度防衛ミサイル(THAAD)配備をめぐり、中国政府が断固とした反対と強烈な不満を表明する中、韓国ロッテグループは27日、配備が予定されている所有地の韓国政府への提供を承認しました。これを受け、中国ではでロッテ製品ボイコットの機運が高まっています。楽天もロッテも中国語では「楽天」と表記するため、楽天がとばっちりを受けています。

中国国内で楽天は「楽天」、ロッテも「楽天」と表記されています。中国の漢字と日本人が使う漢字では微妙な違いがあります。中国語の「手紙」はレターの意味ではなく、「トイレトペーパー」のこと。「手紙を送るね」と筆談すると、とんでもないことになるので注意！ 中国語の手紙は信。

ロッテ、ハングルでは「롯데」
菓子メーカー(韓国では様々な事業展開)の社名です。

LOTTE

中国では、ロッテのことを
「楽天」と表記している

社名の由来は、ドイツの文豪ゲーテの「若きウェルテルの悩み」のヒロイン「シャルロッテ」からとったそうです。
ウェルテルにとって狂おしい程に愛しいシャルロッテ、消費者にとっての「お口の恋人」...という意味合いらしいです。

株式会社ロッテ (LOTTE Co., Ltd.) は、東京都新宿区に本社を置く菓子メーカーである。1948年(昭和23年)に在日韓国人の重光武雄が創業した。創業以来、世界各地にグループを展開しており、特に創業者の出身地である韓国においては積極的な投資を行い大規模な事業展開を行っている。

またプロ野球チームとして、日本では千葉ロッテマリーンズ、韓国ではロッテ・ジャイアンツを持つ。非上場企業。みどり会の会員企業であり三和グループに属している。

なお、株式会社ロッテは持株会社ロッテホールディングスとなり、持株会社に移行。

菓子メーカーとしての現在の株式会社ロッテはその際に分離・新設され、持株会社の傘下となっている

楽天株式会社(らくてん、英: Rakuten, Inc.) は、インターネットサービスを展開する日本のIT企業(1997年創業、現在の本社は世田谷区二子玉川、ネット通販首位の会社)。

楽R天

創業時はECモールを中心とした事業体であったが、現在はグループ営業利益の過半数をオンライン株式販売やクレジットカード等の金利・手数料収入で稼ぐオンライン金融事業者でもある。その他、各種のオンライン事業を手掛ける。

インターネットショッピングモール「楽天市場」や総合旅行サイト「楽天トラベル」、ポータルサイト「インフォシーク」の運営その他ECサイトの運営を行う。グループ会員は9,977万人

国語辞書をひくと、らくてん【**楽天**】とは自分の境遇を天の与えたものとして受け入れ、くよくよしないで人生を楽観すること。なっています。

「**楽天経済圏**」とは、楽天グループが提供する様々なサービスにより形成される経済圏で、この中で貯めて使える『楽天スーパーポイント』というロイヤルティプログラムを通じ、楽天会員となる顧客の流入拡大および経済圏内でのサービス利用や回遊性を促進するビジネスモデルです。

楽天グループが提供するいずれかのサービスから入会した楽天会員は、EC(電子商取引)や金融等の様々なグループ内サービスで利用可能な共通のIDを持つことになります。また、この共通IDで管理できる『楽天スーパーポイント』は、「楽天経済圏」内での買い物やサービス利用時に貯めたり使ったりすることができ、楽天会員のグループサービス内での回遊的・継続的な利用を促しています。さらに、クレジットカードの『楽天カード』や電子マネーの『楽天Edy』といった利便性の高い決済ツールが楽天グループサービスに加わり、経済圏におけるネットとリアルとの融合が進んでいます。

このように「**楽天経済圏**」は、ビジネス資産である会員データベースを基盤に、楽天会員にとって楽しく便利なサービスを提供し、流通総額(取扱高)の増大や、会員一人当たりの生涯価値(ライフタイムバリュー)の最大化等の相乗効果を目指しています。

